

青梅療育院のお知らせ

令和6年5月号

発行責任者／七枝 隆志

編集／介護老人福祉施設

青梅療育院

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

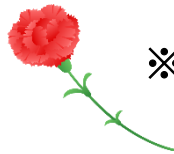
1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

5月の行事予定

5日（日）端午の節句
9日（木）誕生会
12日（日）母の日



お母さん
ありがとう



21日（火）2階理美容

28日（火）3階理美容

※ 新茶の入荷状況により
新茶をふるまう会を開催予定



6月の行事予定

6日（木）誕生会
16日（日）父の日
18日（火）2階理美容

25日（火）3階理美容

※ 開花状況により
吹上菖蒲公園見学



HAPPY BIRTHDAY



6月は4名の方がお誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

・飯田はつ江 様 ・奈良野清政 様 ・森 博子 様 ・山戸 正七 様

=福祉サービス第三者評価事業も結果について=

福祉サービス第三者評価事業とは、施設の事業運営全般について、東京都福祉サービス評価推進機構が定めている共通項目にもとづいて、第三者評価機関によって調査評価を受けるものです。今年度も株式会社ケアシステムズによって審査を受け、評価の講評として「特に良いと思う点」と、「さらなる改善が望まれる点」等について、次のような講評がされました。

■特に良いと思う点

新型コロナ感染予防対策を行ったうえで、看取り介護対応の実施が行われており、利用者様個々の希望を叶えるだけでなく、活動量につながる支援も検討されている。

生活面においても利用者様一人ひとりの状況に合わせてサービスを提供し、介護上の課題に関して過度にならないよう適切な支援ができるよう対応している。重度化して自ら訴えることのできない利用者様も多いが、状況把握に努めながら常に生活の継続性に重点を置き、ご家族の意向も把握しながら適切な業務を目指している。

施設の最大の課題は43年が経過した施設の建て替え計画であり、利用者様の生活環境の改善と今後の安定した経営の実現に向けて、多角的な目標を掲げ組織を挙げて取り組んでいる。

その柱は稼働率の向上による経営の安定と、介護業務のワークフローの変革であり、業務の効率化とサービスの品質向上を目指すものであり、中期計画と重点取り組み事項を全職員が一丸となって取り組めるよう組織の充実に努めている。

■さらなる改善が望まれる点

サービス計画委員会には介護職員をはじめ各職員が参加し、利用者様の日々の過ごし方について検討しており、委員会へのご家族の参加はコロナ感染症予防のため難しい状況であるが、特に看取り期にある利用者様の場合には、今後の社会情勢に合わせて委員会へのご家族の参加の再開に向けて、積極的に検討することを期待したい。

認知症ケアの専門性を高めることが期待されており、利用者様が落ち着いた

て過ごせるような環境づくりに努めている。一人ひとりに寄り添えるような支援に心掛けているが、現在、認知症高齢者の日常生活自立度は全体の約5割に至っており、認知症ケアの専門性を高める研修意識をさらに高めていくことが必要である。

施設の最大の課題は新たな施設の建て替えであり、中期計画と重点取り組み事項において目標を定めて取り組んでいる一方で、急激な建築費の高騰がネックとなり計画の見直しに直面している。困難な道ではあるが英知を集めて課題を乗り越え、新時代の高齢福祉にかなう「新生・青梅療育院」の実現に向けて職員・経営が一丸となって取り組んで欲しい。

この評価内容を更に充実していくために、職員全員で改善に努めてまいります。

理事長 宇津木 敏郎

個別ケア

ご利用者様一人ひとり目標や楽しみは異なります。
一人ひとりに合ったケアを提案する個別ケア。
今年度は個別ケアを充実させたいと思います。



定期的に図書館に通い
お気に入りの本を借ります！

定期的に美術館や資料館
を訪れ、芸術鑑賞！！



お風呂に入り隊

毎月恒例の「お風呂に入り隊」も個別レクです。
普段は入浴のない日曜日にゆっくり湯舟に浸かる
以外に機械浴から普通の入浴にチャレンジする、
自立を支援する機会にもなっています。



お花見・チューリップドライブ

羽村「花と水のまつり」に行っ
てきました！
満開の桜とチューリップがとても
きれいでした🌸

